

令和 8 年 2 月 13 日

令和 8 年度ホクト生物科学振興財団事業計画について

公益財団法人ホクト生物科学振興財団

令和 8 年度事業計画

〈基本計画〉

平成 24 年度より公益財団法人ホクト生物科学振興財団としてスタートし、15 年目となります。現在、世界的にバイオテクノロジー分野の研究開発が加速度的に進み、そのビジネスにおいても進歩を遂げています。特に、農林水産業や医療・医薬品の分野への応用に高い期待を寄せられています。

バイオテクノロジーの更なる発展の為に、十分な研究費と研究者の育成が必要不可欠となっています。国内においてバイオテクノロジー関連研究費の不足が多く、多くの研究者から伝えられております。

また、この研究推進が世界の趨勢に遅れる懸念を抱かせる状況にある中、当財団は国内の研究活動に対して助成金を給付するとともに、バイオテクノロジー技術の交流と普及を図るとともに国内産業の育成及び発展に貢献することを基本方針としています。

令和 8 年度の事業計画につきましては以下の事業を計画しております。

〈事業名〉

1、奨励金給付事業

① 国内の学校、団体及び個人に対する奨励金給付

バイオ関連の優れた研究活動に取り組む国内の若手研究者の団体または個人を対象に、1 件 20 万円から 100 万円程度（高校の場合 10～20 万円程度）を支給。

今年度の給付件数は 20 件前後とし総額で 1,320 万円程度を予定。

給付対象者は公募とし、選考委員会の審査を経て、理事会で決定する。

2、バイオテクノロジー技術の交流事業

①バイオテクノロジー技術研究会

国内の研究者を対象に、著名な研究者を講師に招いて開催

② バイオテクノロジー講演会

国内の著名な学識者及び研究者を講師に招き、一般を対象に講演会を開催

③ 講師の斡旋

研究会、講演会などで講師の斡旋依頼があれば対応する。

3、バイオテクノロジー技術の普及事業

①きのこの観察会および研究会

9月下旬から10月下旬にかけ、長野県内の高原、森林等において著名なきのこ研究者を招き、研究者、一般を対象にきのこ観察会・鑑定会を開催

② 実験機器等の寄付

国内の学校、団体を対象にバイオ関連の実験機器等の寄付を行うことがある。

4、新聞、専門誌等による助成先一般公募などの広報活動

①バイオ関係専門紙およびバイオ関連雑誌に助成先一般公募の広告記事を掲載

②イベント、新聞、雑誌での財団活動の紹介・PR